

## 平成9年商業統計調査結果報告書

### 目 次

要 約	2
1. 商店数	3
(1) 業種別	3
(2) 従業者規模別	5
(3) 経営組織別	6
2. 従業者数	7
(1) 業種別	7
(2) 男女別	9
(3) 1店当たり従業者数	9
3. 年間商品販売額	10
(1) 業種別	10
(2) 1店当たり年間商品販売額	12
(3) 従業者1人当たり年間商品販売額	12
4. 商品手持額	13
(1) 業種別	13
(2) 在庫率〔商品手持額÷(年間商品販売額÷12)×100〕	14
(3) 商品回転率〔年間商品販売額÷商品手持額〕	14
5. 売場面積(小売業のみ)	15
(1) 業種別	16
(2) 1店当たり売場面積	16
(3) 売場面積1㎡当たり年間小売販売額	16
6. 大規模小売店舗などの状況	16

平成 9 年商業統計調査結果報告書  
調査結果の概要

要 約

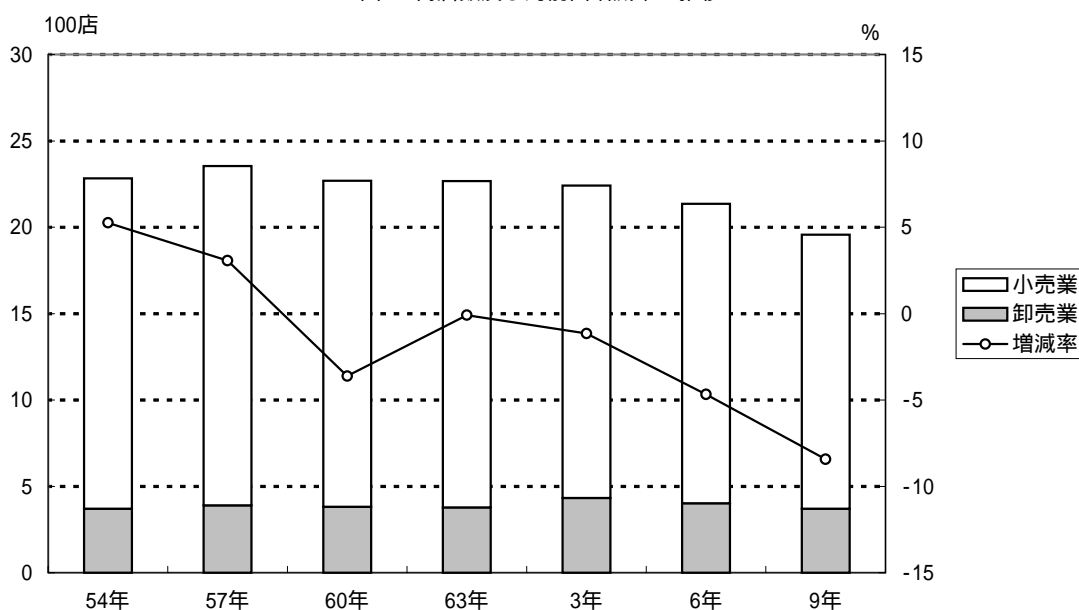
平成 9 年商業統計調査の結果は、おおむね次のとおりである。

- 1 商店数は 1,956 店で、平成 6 年 7 月 1 日調査（以下、「前回調査」という）に比べ 180 店（8.4%）の減少となった。  
卸売業が 370 店（対前回比 8.0%）、小売業が 1,586 店（同 8.5%）となっている。
- 2 従業者数は 9,704 人で、前回調査に比べ 579 人（5.6%）の減少となった。  
卸売業が 2,683 人（対前回比 11.0%）、小売業が 7,021 人（同 3.4%）となっている。
- 3 年間商品販売額は 2,530 億 8,968 万円で、前回調査に比べ 87 億 9,440 万円（3.4%）の減少となった。  
卸売業が 1,224 億 4,812 万円（対前回比 7.7%）、小売業が 1,306 億 4,156 万円（同 1.1%）となっている。
- 4 商品手持額は 211 億 4,774 万円で、前回調査に比べ 8 億 9,059 万円（4.4%）の増加となった。  
卸売業が 72 億 8,254 万円（対前回比 2.5%）、小売業が 138 億 6,520 万円（同 8.4%）となっている。
- 5 売場面積（小売業のみ）は 137,565 m<sup>2</sup>で、前回調査に比べ 14,120 m<sup>2</sup>（11.4%）の増加となった。

## 1. 商店数

調査日現在の商店数は 1,956 店で、前回調査に比べ 180 店（8.4%）の減少となった。これを卸売・小売業別にみると、卸売業は 370 店で前回調査に比べ 32 店（8.0%）、小売業は 1,586 店で前回調査に比べ 148 店（8.5%）それぞれ減少した。[図 1、付表 1]

図1 商店数及び対前回増減率の推移



### (1) 業種別

業種別の対前回増減をみると、卸売業では衣服・身の回り品卸売業など 4 業種で増加したが、他に分類されない卸売業が 8 店（18.6%）、一般機械器具卸売業 7 店（17.5%）、農畜産物・水産物卸売業と医薬品・化粧品卸売業がともに 6 店（それぞれ 9.0%、30.0%）などと減少した。

小売業では、各種商品小売業が 2 店（50.0%）増加したほかは、飲食料品小売業が 64 店（9.6%）、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業 29 店（15.9%）、自動車・自転車小売業 21 店（16.3%）などすべての業種で減少した。

業種別の構成比をみると、卸売業では農畜産物・水産物卸売業が卸売業全体の 16.5%（61 店）と最も大きく、次いで食料・飲料卸売業、建築材料卸売業がともに 13.2%（49 店）などと続いており、上位 3 業種で卸売業全体の 43% 近くを占めている。

小売業では、飲食料品小売業が小売業全体の 37.8%（600 店）と最も大きく、次いでその他の小売業 30.3%（481 店）、織物・衣服・身の回り品小売業 15.0%（238 店）などと続いており、上位 3 業種で小売業全体の 83% を占めている。[図 2.1、2.2、付表 1]

図2.1 商店数の業種別構成比（卸売業）

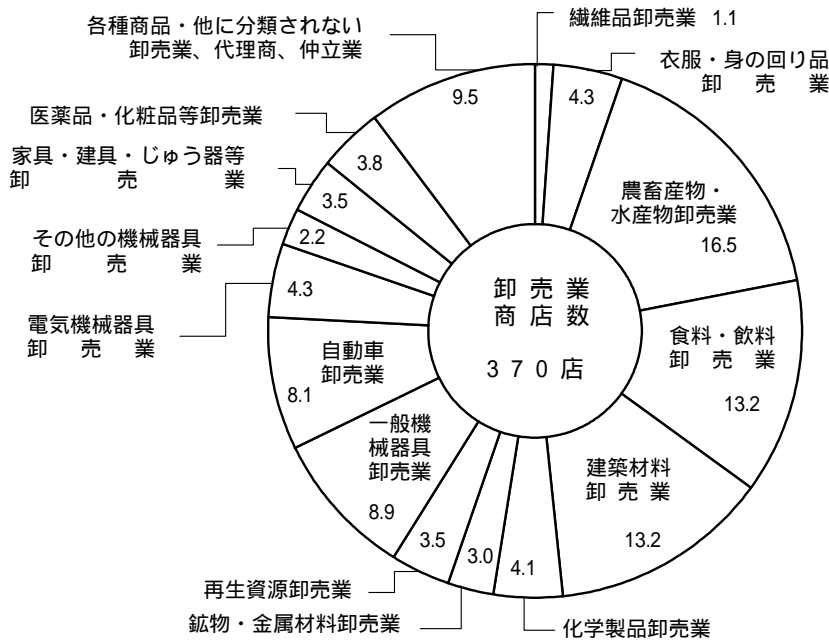
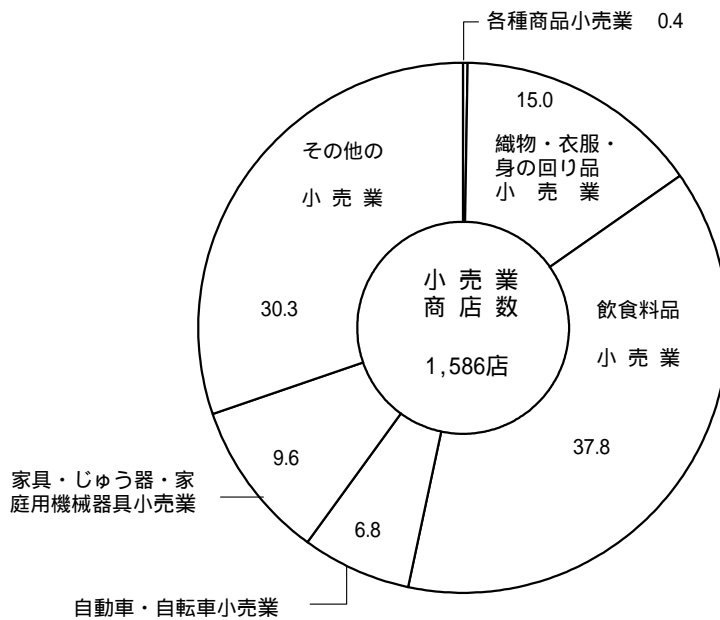


図2.2 商店数の業種別構成比（小売業）



(2) 従業者規模別

従業者規模別に商店数をみると、卸売業では3~4人規模の商店が106店(卸売業全体の28.6%)と最も多く、次いで5~9人規模103店(同27.8%)、1~2人規模82店(同22.2%)などと続き、1~9人規模で卸売業全体の78.6%(291店)を占めている。

小売業では、1~2人規模の商店が886店(小売業全体の55.9%)と圧倒的に多く、次いで3~4人規模376店(同23.7%)、5~9人規模199店(同12.5%)などと続き、1~9人規模で小売業全体の92.1%(1,461店)を占めている。

また、前回調査に比べ、卸売業では5~9人規模が12店(10.4%)、1~2人規模9店(9.9%)などとなった。一方、小売業では30~49人規模と5~9人規模は増加したが、1~2人規模が120店(11.9%)、3~4人規模19店(4.8%)などとなった。さらに、50~99人規模は4店と減少店数こそ少ないものの減少率は高く、卸売業40.0%、小売業16.7%となった。[表1]

表1 従業者規模別商店数

区 分		商店数(店)		構成比(%)		増加率 (%)
		6年	9年	6年	9年	
合 計	合計	2,136	1,956	100.0	100.0	8.4
	1~2人	1,097	968	51.4	49.5	11.8
	3~4	504	482	23.6	24.6	4.4
	5~9	313	302	14.7	15.4	3.5
	10~19	137	125	6.4	6.4	8.8
	20~29	50	45	2.3	2.3	10.0
	30~49	16	19	0.7	1.0	18.8
	50~99	17	13	0.8	0.7	23.5
	100人以上	2	2	0.1	0.1	0.0
	卸 売 業	計	402	370	100.0	100.0
1~2人		91	82	22.6	22.2	9.9
3~4		109	106	27.1	28.6	2.8
5~9		115	103	28.6	27.8	10.4
10~19		56	54	13.9	14.6	3.6
20~29		18	14	4.5	3.8	22.2
30~49		8	8	2.0	2.2	0.0
50~99		5	3	1.2	0.8	40.0
100人以上		-	-	-	-	-
小 売 業		計	1,734	1,586	100.0	100.0
	1~2人	1,006	886	58.0	55.9	11.9
	3~4	395	376	22.8	23.7	4.8
	5~9	198	199	11.4	12.5	0.5
	10~19	81	71	4.7	4.5	12.3
	20~29	32	31	1.8	2.0	3.1
	30~49	8	11	0.5	0.7	37.5
	50~99	12	10	0.7	0.6	16.7
	100人以上	2	2	0.1	0.1	0.0

(3) 経営組織別

経営組織別に商店数をみると、法人商店は 831 店で全商店の 42.5%、個人商店は 1,125 店で全商店の 57.5%となっており、前回調査に比べ法人商店比率が 3.0 ポイント上昇した。近年、法人商店の比率が緩やかながら増加傾向にある。前回調査と比べても法人商店は 1.4%、12 店の減少にとどまっている。一方、個人商店は 13.0%、168 店減少した。

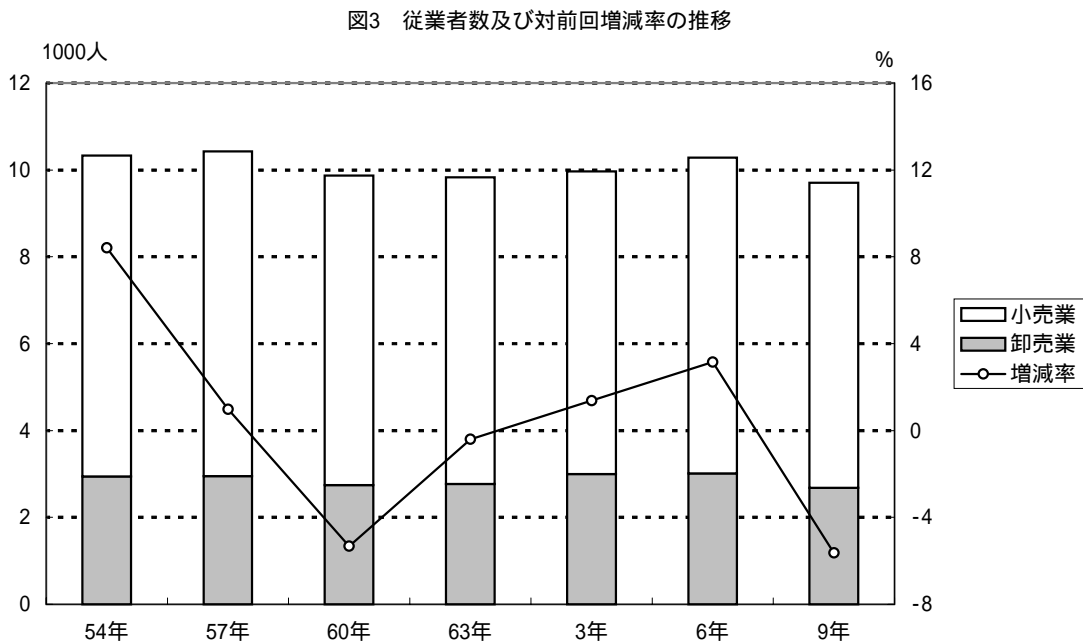
卸売・小売業別にみると、卸売業では法人商店が 252 店（卸売業全体の 68.1%）、個人商店が 118 店（同 31.9%）となっており、小売業では法人商店が 579 店（小売業全体の 36.5%）、個人商店が 1,007 店（同 63.5%）となっている。これを前回調査と比べると、卸売業の法人商店比率は 0.6 ポイント減少したが、小売業の法人商店比率は 3.8 ポイント上昇した。[表 2]

表2 経営組織別商店数

区分		商店数(店)			構成比(%)			対前回増減率(%)		
		3年	6年	9年	3年	6年	9年	3年	6年	9年
総計	計	2,241	2,136	1,956	100.0	100.0	100.0	1.1	4.7	8.4
	法人	831	843	831	37.1	39.5	42.5	13.4	1.4	1.4
	個人	1,410	1,293	1,125	62.9	60.5	57.5	8.1	8.3	13.0
卸売業	計	433	402	370	100.0	100.0	100.0	14.6	7.2	8.0
	法人	276	276	252	63.7	68.7	68.1	19.0	0.0	8.7
	個人	157	126	118	36.3	31.3	31.9	7.5	19.7	6.3
小売業	計	1,808	1,734	1,586	100.0	100.0	100.0	4.3	4.1	8.5
	法人	555	567	579	30.7	32.7	36.5	10.8	2.2	2.1
	個人	1,253	1,167	1,007	69.3	67.3	63.5	9.7	6.9	13.7

## 2. 従業者数

調査日現在の従業者数は9,704人で、前回調査に比べ579人(5.6%)の減少となった。これを卸売・小売業別にみると、卸売業は2,683人で前回調査に比べ331人(11.0%)、小売業は7,021人で前回調査に比べ248人(3.4%)いずれも減少した。[図3、付表2]



### (1) 業種別

業種別の対前回増減をみると、卸売業では化学製品卸売業 32人(57.1%)増、家具・建具・じゅう器等卸売業 30人(37.0%)増などとなったが、農畜産物・水産物卸売業が79人(14.0%)、鉱物・金属卸売業 56人(33.5%)、食料・飲料卸売業 49人(10.7%)などと減少した。

小売業では、飲食料品小売業が119人(5.1%)増加した。しかし、他の業種はいずれも減少しており、その他の小売業 128人(5.2%)、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業 111人(19.2%)、織物・衣服・身の回り品小売業 74人(8.9%)などとなった。

業種別の構成比をみると、卸売業では農畜産物・水産物卸売業が卸売業全体の18.0%(484人)と最も大きく、次いで食料・飲料卸売業15.3%(411人)、建築材料卸売業13.9%(372人)などと続き、上位3業種で卸売業全体の47.2%を占めている。

小売業では、飲食料品小売業が小売業全体の35.2%(2,470人)と最も大きく、次いで、その他の小売業が33.2%(2,332人)、織物・衣服・身の回り品小売業10.8%(758人)などと続き、上位3業種で小売業全体の79.2%を占めている。[図4.1、4.2、付表2]

図4.1 従業者数の業種別構成比（卸売業）

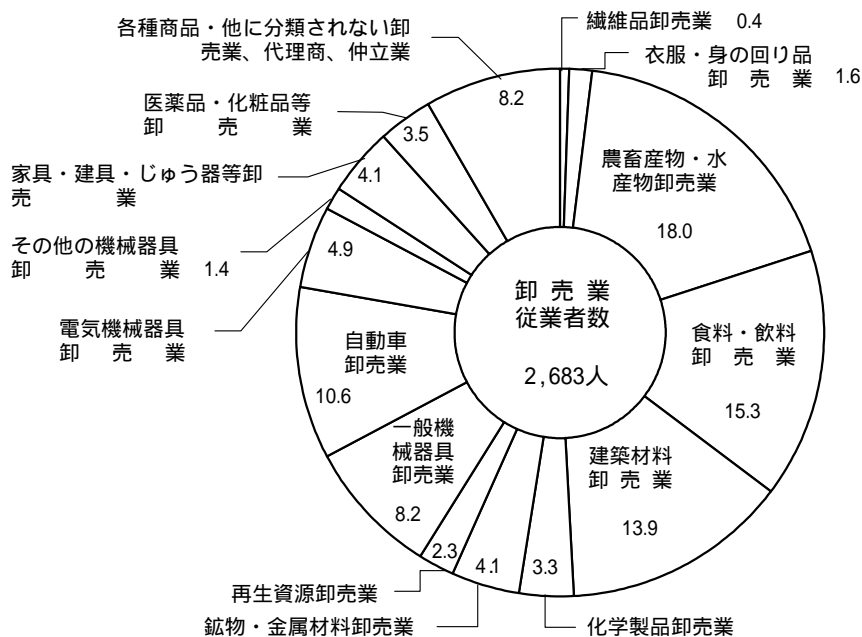
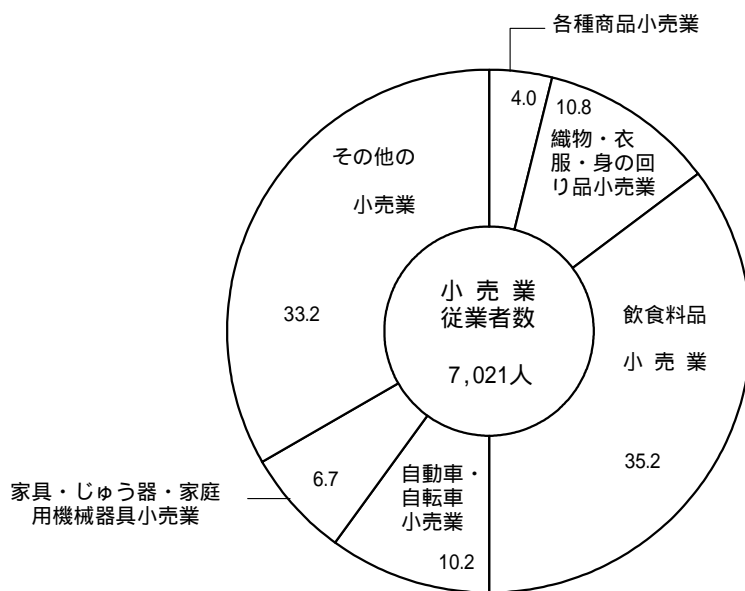


図4.2 従業者数の業種別構成比（小売業）





## (2) 男 女 別

男女別に従業者数をみると、男は4,760人で前回調査に比べ423人(8.2%)、女は4,944人で前回調査に比べ156人(3.1%)それぞれ減少した。全従業者に対する割合は、男49.1%、女50.9%となり、今回調査で男女比率が逆転した。

これを卸売・小売業別にみると、卸売業では男が1,720人で前回調査に比べ208人(10.8%)、女は963人で前回調査に比べ123人(11.3%)それぞれ減少した。小売業でも、男が3,040人で前回調査に比べ215人(6.6%)減少したが、女は3,981人で前回調査に比べ33人の減少となり、減少幅も0.8%にとどまった。[表3]

表3 男女別就業者数

区分		従業者数(人)			構成比(%)			対前回増減率(%)		
		3年	6年	9年	3年	6年	9年	3年	6年	9年
総計	計	9,969	10,283	9,704	100.0	100.0	100.0	1.4	3.1	5.6
	男	5,169	5,183	4,760	51.9	50.4	49.1	0.3	0.3	8.2
	女	4,800	5,100	4,944	48.1	49.6	50.9	3.3	6.3	3.1
卸売業	計	2,999	3,014	2,683	30.1	29.3	27.6	8.4	0.5	11.0
	男	1,980	1,928	1,720	19.9	18.7	17.7	8.7	2.6	10.8
	女	1,019	1,086	963	10.2	10.6	9.9	7.7	6.6	11.3
小売業	計	6,970	7,269	7,021	69.9	70.7	72.4	1.4	4.3	3.4
	男	3,189	3,255	3,040	32.0	31.7	31.3	5.3	2.1	6.6
	女	3,781	4,014	3,981	37.9	39.0	41.0	2.2	6.2	0.8

## (3) 1店当たり従業者数

1店当たり従業者数は5.0人で、前回調査に比べ0.2人増加となった。これを卸売・小売業別にみると、卸売業では7.3人で前回調査に比べ0.2人減、小売業では4.4人で前回調査に比べ0.2人増となっている。

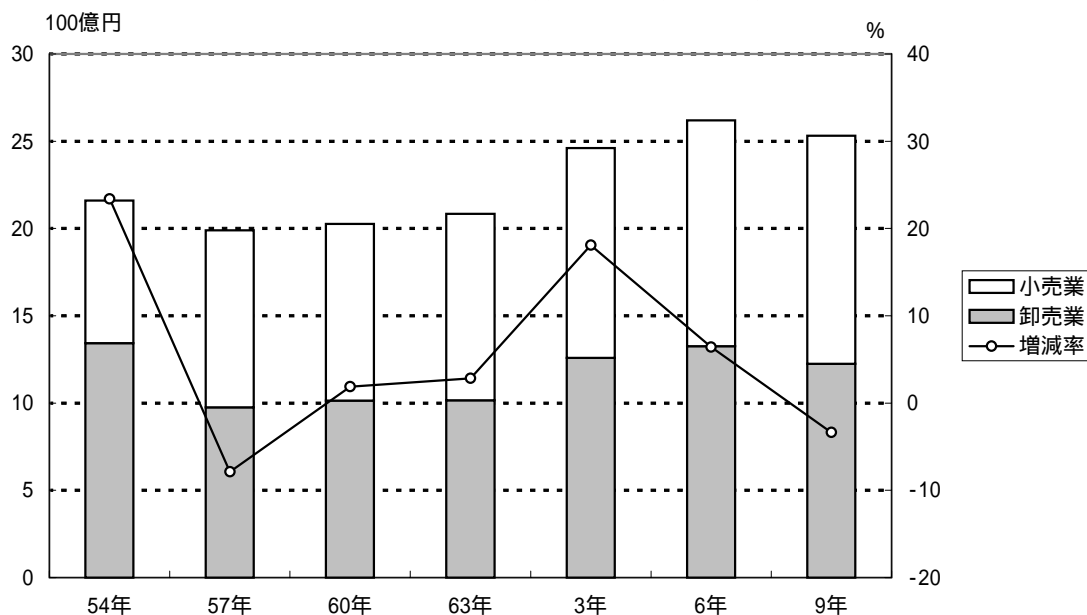
さらに業種別にみると、卸売業では鉱物・金属材料卸売業が10.1人(対前回2.7人)と最も多く、次いで自動車卸売業9.5人(同0.8人)、家具・建具・じゅう器等卸売業8.5人(同1.7人増)などの順となっている。

小売業では、各種商品小売業が46.3人(同27.0人)と圧倒的に多く、次いで自動車・自転車小売業6.6人(同0.7人増)、その他の小売業4.8人(同0.1人)などの順となっている。[付表2]

### 3. 年間商品販売額

調査日現在の年間商品販売額は 2,530 億 8,968 万円で、前回調査に比べ 87 億 9,440 万円 (3.4%) の減少となった。これを卸売・小売業別にみると、卸売業は 1,224 億 4,812 万円で前回調査に比べ 101 億 7,221 万円 (7.7%) の減少となったが、小売業は 1,306 億 4,156 万円で前回調査に比べ 13 億 7,781 万円 (1.1%) の増加となった。[図 5、付表 3]

図5 年間商品販売額及び対前回増減率の推移



#### (1) 業種別

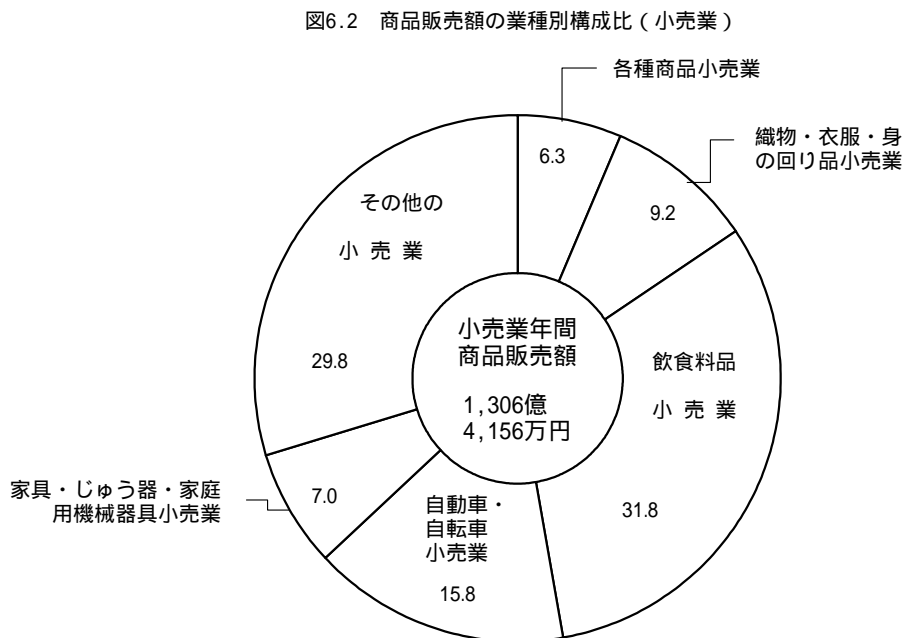
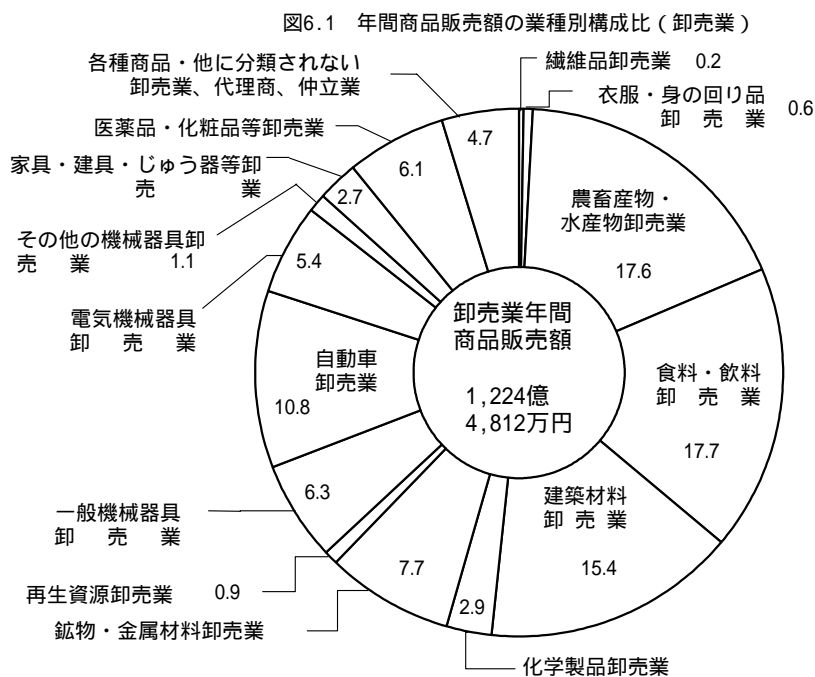
業種別の対前回増減をみると、卸売業では建築材料卸売業が 43 億 9,418 万円 (30.4%) 増、化学製品卸売業 17 億 1,241 万円 (96.3%) 増、自動車卸売業 12 億 8,601 万円 (10.7%) 増などとなったのに対し、鉱物・金属材料卸売業 51 億 2,935 万円 (35.2%)、食料・飲料卸売業 45 億 1,249 万円 (17.2%)、農畜産物・水産物卸売業 30 億 6,011 万円 (12.4%) などと減少した。

小売業では、自動車・自転車小売業が 27 億 2,275 万円 (15.2%) 増、飲食料品小売業 4 億 7,982 万円 (1.2%) 増などとなったのに対し、各種商品小売業 11 億 2,067 万円 (12.0%)、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業 5 億 4,897 万円 (5.6%) などと減少した。

業種別の構成比をみると、卸売業では食料・飲料卸売業が卸売業全体の 17.7% (216 億 5,218 万円) と最も大きく、次いで農畜産物・水産物卸売業 17.6% (215 億 9,887 万円)、建築材料卸売業 15.4% (188 億 7,143 万円) などと続き、上位 3 業種で卸売業全体の 50.7% を占めている。

小売業では、飲食料品小売業が小売業全体の 31.8% (415 億 6,719 万円) と最も大きく、

次いでその他の小売業 29.8% (389 億 8,871 万円)、自動車・自転車小売業 15.8% (206 億 6,369 万円) などと続き、上位 3 業種で小売業全体の 77.4% を占めている。[ 図 6.1, 6.2, 付表 3 ]



## ( 2 ) 1店当たり年間商品販売額

1店当たり年間商品販売額は1億2,946万円で、前回調査に比べ680万円(5.5%)の増加となった。これを卸売・小売業別にみると、卸売業は3億3,184万円で前回調査に比べ111万円(0.3%)増、小売業は8,237万円で前回調査に比べ783万円(10.5%)増となっている。

さらに業種別にみると、卸売業では鉱物・金属材料卸売業が8億5,760万円(対前回比23.4%)と最も高く、次いで医薬品・化粧品卸売業5億3,007万円(同11.6%)、自動車卸売業4億4,220万円(同7.0%)などの順になっている。

小売業では、各種商品小売業が対前回比41.3%ではあっても13億6,997万円と際立って多く、次いで自動車・自転車小売業1億9,133万円(同37.6%)、その他の小売業8,106万円(同4.2%)などの順となっている。[付表4]

## ( 3 ) 従業者1人当たり年間商品販売額

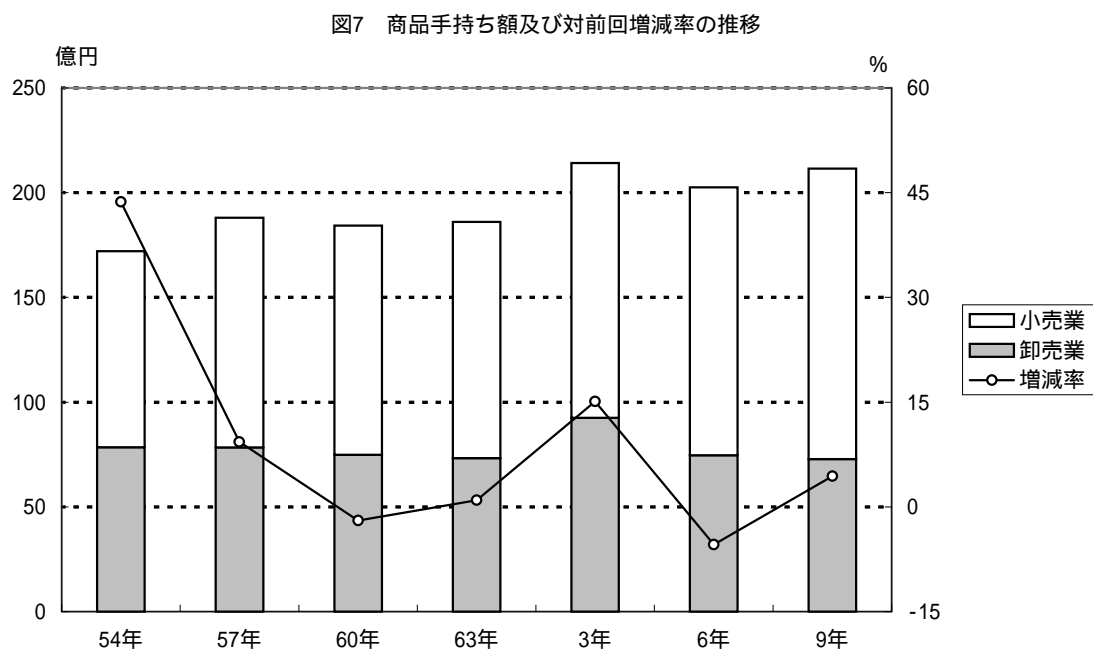
従業者1人当たり年間商品販売額は2,611万円で、前回調査に比べ61万円(2.4%)の増加となった。これを卸売・小売業別にみると、卸売業は4,564万円で前回調査に比べ143万円(3.2%)増、小売業は1,861万円で前回調査に比べ82万円(4.6%)増となっている。

さらに業種別にみると、卸売業では鉱物・金属材料卸売業が8,499万円(対前回比2.5%)と最も多く、次いで医薬品・化粧品卸売業7,811万円(同16.8%)、食料・飲料卸売業5,268万円(同7.4%)などの順となっている。

小売業では、各種商品小売業が2,957万円(同7.2%)と最も多く、次いで自動車・自転車小売業2,886万円(同21.4%)、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業1,969万円(同16.8%)などの順となっている。[付表4]

#### 4. 商品手持額

調査日現在の商品手持額は211億4,774万円で、前回調査に比べ8億9,059万円(4.4%)の増加となった。これを卸売・小売業別にみると、卸売業が72億8,254万円で前回調査に比べ1億8,436万円(2.5%)減少したのに対し、小売業は138億6,520万円で前回調査に比べ10億7,495万円(8.4%)増加した。[図7、付表5]



#### (1) 業種別

業種別の対前回増減をみると、卸売業では自動車卸売業が4億2,540万円(50.1%)増、建築材料卸売業3億823万円(22.5%)増などとなったのに対し、食料・飲料卸売業4億1,668万円(36.5%)、医薬品・化粧品卸売業2億843万円(29.6%)、一般機械器具卸売業1億7,742万円(29.5%)などと減少した。

小売業では、その他の小売業が16億966万円(34.6%)増、飲食料品小売業1億2,337万円(8.4%)増などとなったのに対し、自動車・自転車小売業6億4,000万円(44.8%)、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業1億1,343万円(7.5%)などと減少した。

業種別の構成比をみると、卸売業では建築材料卸売業が卸売業全体の23.1%(16億7,873万円)と最も大きく、次いで自動車卸売業17.5%(12億7,406万円)、食料・飲料卸売業10.0%(7億2,559万円)などの順となっている。

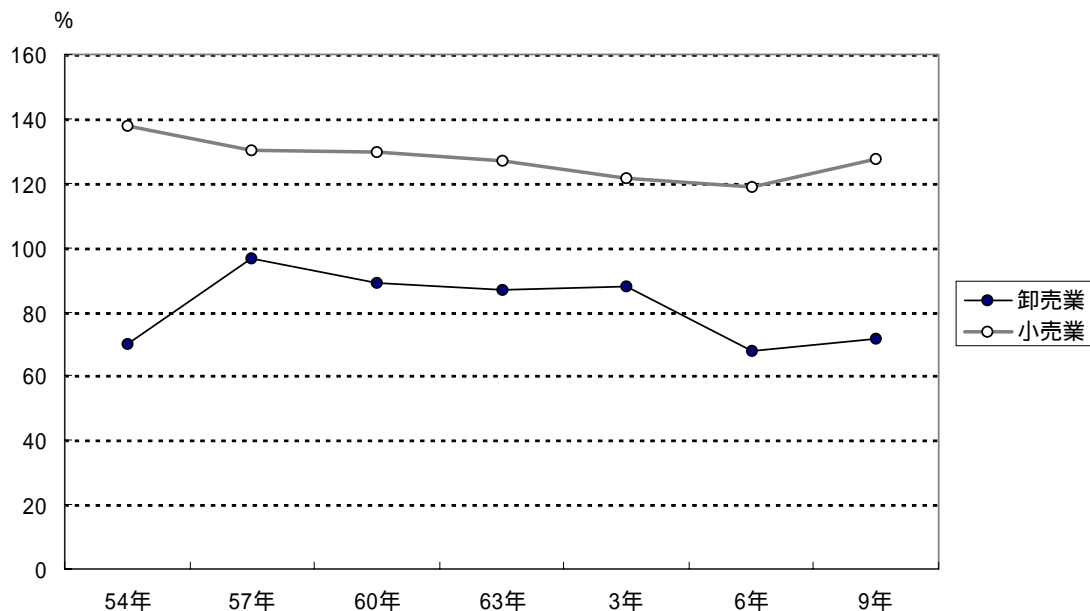
小売業では、その他の小売業が小売業全体の45.1%(62億5,560万円)と最も大きく、次いで織物・衣服・身の回り品小売業19.9%(27億5,740万円)、飲食料品小売業11.5%(15億9,104万円)などの順となっている。[付表5]

( 2 ) 在庫率〔商品手持額÷(年間商品販売額÷12)×100〕

在庫率は100.3%で、前回調査に比べ7.5ポイント上昇した。これを卸売・小売業別にみると、卸売業が71.4%で前回調査に比べ3.8ポイント、小売業が127.4%で前回調査に比べ8.7ポイントそれぞれ上昇した。

さらに業種別で見ると、在庫率の高い順に、卸売業では繊維品卸売業312.7%、衣服・身の回り品卸売業262.8%、自動車卸売業115.2%などとなっており、小売業では織物・衣服・身の回り品小売業275.5%、その他の小売業192.5%、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業182.5%などとなっている。[図8、付表5]

図8 在庫率の推移

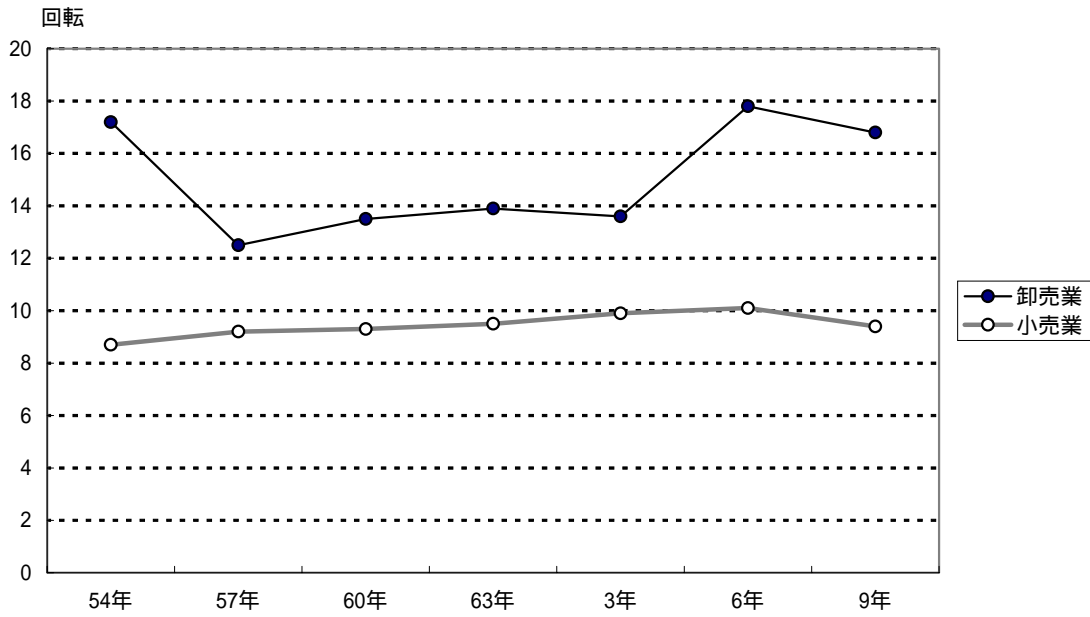


( 3 ) 商品回転率〔年間商品販売額÷商品手持額〕

商品回転率は12.0回転で、前回調査に比べ0.9回転遅くなった。これを卸売・小売業別にみると、卸売業は16.8回転で前回調査に比べ1回転、小売業は9.4回転で前回調査に比べ0.7回転それぞれ遅くなった。

さらに業種別に見ると、商品回転率の早い順に、卸売業では農畜産物・水産物卸売業38.9回転、電気機械器具卸売業32.1回転、食料・飲料卸売業29.8回転などとなっており、小売業では自動車・自転車小売業26.2回転、飲食料品小売業26.1回転、各種商品小売業7.7回転などとなっている。[図9、付表5]

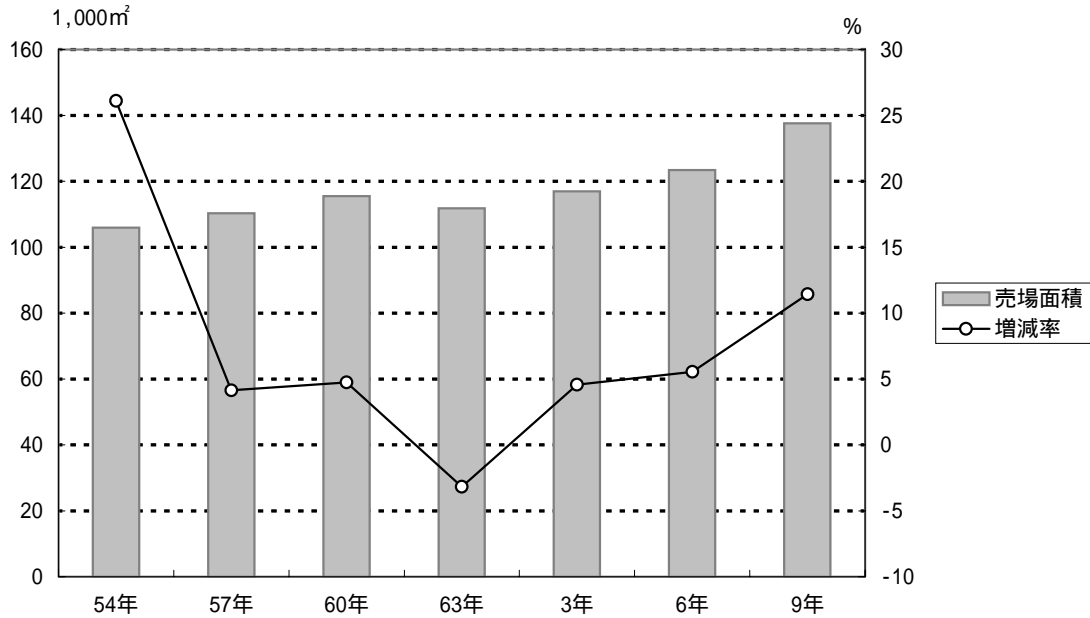
図9 商品回転率の推移



### 5. 売場面積（小売業のみ）

調査日現在の売場面積は 137,565 m<sup>2</sup>で、前回調査に比べ 14,120 m<sup>2</sup>（11.4%）の増加となった。[ 図 10、付表 6 ]

図10 売り場面積及び対前回増減率の推移



### (1) 業種別

業種別の対前回増減をみると、その他の小売業 10,445 m<sup>2</sup> (39.5%) 増、飲食料品小売業 4,589 m<sup>2</sup> (12.5%) 増などとなったのに対し、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業 3,586 m<sup>2</sup> (22.5%)、自転車・自動車小売業 1,197 m<sup>2</sup> (32.2%) などと減少した。

業種別の構成比をみると、飲食料品小売業が小売業全体の 30.0% (41,287 m<sup>2</sup>) と最も大きく、次いでその他の小売業 26.8% (36,893 m<sup>2</sup>)、織物・衣服・身の回り品小売業 18.3% (25,180 m<sup>2</sup>) などの順となっている。[付表 6]

### (2) 1店当たり売場面積

1店当たり売場面積は 101 m<sup>2</sup> で、前回調査に比べ 23 m<sup>2</sup> (29.5%) の増加となった。これを業種別にみると、各種商品小売業が 3,217 m<sup>2</sup> (対前回比 26.4%) と圧倒的に広く、次いで織物・衣服・身の回り品小売業 109 m<sup>2</sup> (同 19.8%)、家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業 101 m<sup>2</sup> (同 2.0%) などの順となっている。[付表 7]

### (3) 売場面積 1 m<sup>2</sup> 当たり年間小売販売額

売場面積 1 m<sup>2</sup> 当たり年間小売販売額は 66.6 万円で前回調査に比べ、12.5 万円 (15.8%) 減少した。これを業種別にみると、飲食料品小売業が 96.3 万円 (対前回比 13.0%) と最も高く、次いで家具・じゅう器・家庭用機械器具小売業 69.5 万円 (同 20.0%)、その他の小売業 59.2 万円 (同 37.1%) などの順となっている。[付表 7]

## 6. 大規模小売店舗などの状況

大規模小売店舗及びこれに類似するものとして生活協同組合及び農業協同組合の状況についてみると、店舗数は 57 店、店舗内商店数は 135 店、従業者数は 1,691 人、年間商品販売額は 537 億 6,311 万円、商品手持額は 50 億 2,669 万円、売場面積は 69,941 m<sup>2</sup> となっている。これを前回調査と比べると、店舗数は 4 店 (7.5%) 増、店舗内商店数は 1 店 (0.7%) 増、従業者数は 222 人 (15.1%) 増、年間商品販売額は 95 億 4,537 万円 (21.6%) 増、商品手持額は 7 億 1,282 万円 (16.5%) 増、売場面積は 15,867 m<sup>2</sup> (29.3%) 増とそれぞれ増加した。[表 4 A]

小売業全体に対する割合をみると、店舗数は 3.6% (対前回 0.5 ポイント増)、店舗内商店数は 8.5% (同 0.8 ポイント増)、従業者数は 24.1% (同 3.9 ポイント増)、年間商品販売額は 41.8% (同 7.6 ポイント増)、商品手持額は 36.3% (同 2.6 ポイント増)、売場面積は 50.8% (同 7.0 ポイント増) となっている。[表 4 B]

また、1店当たりの実数をみると、従業者数は 12.5 人 (対前回比 13.6%)、年間商品販売額は 3 億 9,825 万円 (同 20.7%)、商品手持額は 3,724 万円 (15.7%)、売場面積は 518.1 m<sup>2</sup> (同 28.4%) となっている。[表 4 C]



表4 - A 実数

単位：店・人・万円・m<sup>2</sup>・%

区 分		実 数						
		全 市小 売業計	大規模店 などの計	大規模小売店舗			生協農協	その他の 小売店
				計	第1種	第2種		
店舗 数	6 年	1,734	53	23	2	21	30	1,600
	9 年	1,586	57	28	5	23	29	1,529
	増減率	8.5	7.5	21.7	150.0	9.5	3.3	4.4
商店 店舗 数内	6 年	...	134	85	48	37	49	...
	9 年	...	135	89	53	36	46	...
	増減率	...	0.7	4.7	10.4	2.7	6.1	...
者従 数業	6 年	7,269	1,469	1,007	462	545	462	5,800
	9 年	7,021	1,691	1,040	495	545	651	5,330
	増減率	3.4	15.1	3.3	7.1	0.0	40.9	8.1
販商 額品 間	6 年	12,926,375	4,421,774	2,763,967	1,327,020	1,436,947	1,657,807	8,504,601
	9 年	13,064,156	5,376,311	3,050,375	1,260,541	1,789,834	2,325,936	7,687,845
	増減率	1.1	21.6	10.4	5.0	24.6	40.3	9.6
持商 品手 額	6 年	1,279,025	431,387	340,571	200,081	140,490	90,816	847,638
	9 年	1,386,520	502,669	385,007	220,109	164,898	117,662	883,851
	増減率	8.4	16.5	13.0	10.0	17.4	29.6	4.3
面売 積場	6 年	123,445	54,074	43,921	21,392	22,529	10,153	69,371
	9 年	137,565	69,941	53,077	29,350	23,727	16,864	67,624
	増減率	11.4	29.3	20.8	37.2	5.3	66.1	2.5

4 - B 構成比

単位：%

区 分		実 数						
		全市小売業 計	大規模店な どの計	大規模小売店舗			生協農協	その他の小 売店
				計	第1種	第2種		
店舗 数	6 年	100.0	3.1	1.3	0.1	1.2	1.7	92.3
	9 年	100.0	3.6	1.8	0.3	1.5	1.8	96.4
店内店 数商舗	6 年	...	7.7	4.9	2.8	2.1	2.8	...
	9 年	...	8.5	5.6	3.3	2.3	2.9	...
者従 数業	6 年	100.0	20.2	13.9	6.4	7.5	6.4	79.8
	9 年	100.0	24.1	14.8	7.1	7.8	9.3	75.9
額品年 販間 売商	6 年	100.0	34.2	21.4	10.3	11.1	12.8	65.8
	9 年	100.0	41.2	23.3	9.6	13.7	17.8	58.8
額手商 持品	6 年	100.0	33.7	26.6	15.6	11.0	7.1	66.3
	9 年	100.0	36.3	27.8	15.9	11.9	8.5	63.7
面売 積場	6 年	100.0	43.8	35.6	17.3	18.3	8.2	56.2
	9 年	100.0	50.8	38.6	21.3	17.2	12.3	49.2

## C 1店当たり実数

単位：店・人・万円・m<sup>2</sup>・%

区 分		実 数						
		全市小売業 計	大規模店な どの計	大規模小売店舗			生協農協	その他の小 売店
				計	第1種	第2種		
者従 数業	6 年	4.2	11.0	11.8	9.6	14.7	9.4	3.6
	9 年	4.4	12.5	11.7	9.3	15.1	14.2	3.5
	増減率	4.8	13.6	0.8	3.1	2.7	51.1	2.8
額品年 販間 売商	6 年	7,455	32,998	32,517	27,646	38,836	33,833	5,315
	9 年	8,237	39,825	34,274	23,784	49,718	50,564	5,028
	増減率	10.5	20.7	5.4	14.0	28.0	49.5	5.4
額手商 持品	6 年	738	3,219	4,007	4,168	3,797	1,853	530
	9 年	874	3,724	4,326	4,153	4,581	2,558	578
	増減率	18.5	15.7	8.0	0.4	20.6	38.0	9.1
面売 積場	6 年	78.2	403.5	516.7	445.7	608.9	207.2	48.0
	9 年	100.9	518.1	596.4	553.8	659.1	366.6	51.7
	増減率	29.0	28.4	15.4	24.3	8.2	76.9	7.7